

4月から

広報ひたは月1回の発行に!

これまで月2回(1日号と15日号)発行していた広報ひたについて、令和5年1月に実施した「日田市の広報に関するアンケート」の結果(右記二次元コード)及びこれまでに寄せられたご意見等を踏まえ、4月から毎月1回(1日発行)に変更します。これに伴い、広報ひたに併せて配布する物や回覧も月1回となります。



広報ひたの紙面をリニューアルします

月1回の変更に合わせて「より親しみやすく身近な広報紙」を目指し、広報紙面の大幅なリニューアルを予定しています。

広報ひた以外の方法でも情報をお届けします

今後も市ホームページや各種公式SNS(LINE、Facebook、X、Instagram)、KCV文字放送や防災ラジオなど様々な媒体を活用して、市政情報をより充実してお届けします。

LINE



「日田市」で検索

Instagram



@hitacity_official

Facebook



「日田市役所」で検索

X(旧 Twitter)



@Hitacity_pr

日田市防災ラジオ



▲申請はこちら

☎地方創生推進課シティセールス係 ☎22 8627 (市役所6階)

市長コラム

03

虫の目と鳥の目と魚の目と

ふるさと日田はいつでも、いつまでも、あなたを応援

日田市長
 棕野美智子



新年早々、能登半島で大きな地震がありました。突然の災害に襲われると、私たちは何気ない日々の暮らしの大切さ、助け合うことの尊さを改めて痛感します。亡くなられた方のご冥福を祈るとともに、被害に遭われた方に心からお見舞い申し上げます。

さて、先日の「20歳のつどい」の式辞で、私は3つのことを話しました。

- ①困ったら一人で抱え込まずに助けを求めること。ふるさと日田はいつでも、いつまでも応援しています。
- ②異文化に属する人と協働する経験を重ねること。予測が難しい時代にあって、多様な人と協働できればできるほど大きな助け、力となります。

- ③挑戦を続けること。自分で決めた挑戦は、確実に生きていく上での力となります。若い人たちの挑戦こそが私たちの未来を拓いてくれます。

このことは、暮れに読んだ『進撃の巨人』でも描かれていました。巨大な歴史の流れの中で、無力に見える一人ひとりの個人の「自由とは何か」「生きることの意味は何か」が問い掛けられていて、国を越えて若い人たちの惹きつける理由が見えた気がしました。



広報ひたは、資源保護のため植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。